

グローバル経営時代の 人材育成フォーラム

優秀な人材の確保と育成

～人的資源の確立と効果的活用への取り組み～

2010年12月9日(木) 13:00～

会場 千代田区 ベルサール神保町

定員:80名

講演者

早稲田大学 政治経済学術院教授 白木 三秀氏

「企業のグローバル化と人材のグローバル化:アジアでの課題は何か？」

住友商事株式会社 人事部 部長代理 国際人事チーム長 本村 恵三氏

「総合商社・住友商事におけるグローバル人材施策」

コマツ 常務執行役員 日置 政克氏

「グローバル経営の加速を担う、コマツの人材育成」

フォーラムの焦点

- グローバル経営における企業理念の策定・浸透
- グローバル経営における人事部のあり方・考え方
- 本社及び海外子会社・関係会社における人的資源活用の最大化
- グローバルマネジメントを遂行できるマネジメントの育成
- 海外子会社・関係会社における幹部の発掘・育成
- 本社人材の国際化

国内市場が縮小する中、生産拠点や市場を海外に求める動きは加速している。それと共に、海外各地のニーズに合う、価値ある商品やサービスを提供する為、優秀な人材の確保が多くの企業にとって至急の課題となっている。

しかしながら、グローバルマネジメントが出来る本社人材の育成とともに、優秀な現地幹部の獲得・育成など、グローバル経営における人的資源の確保・有効活用が出来ている企業はわずかだと言える。また、グローバル経営における、人事ポリシーや企業理念の確立・浸透が不十分な企業も多く、グローバルな人事制度の構築やその実行を難しくさせている。その確立・浸透には、経営陣と現場を巻き込んだ議論と、継続的な取り組みが欠かせない。

本フォーラムでは該当テーマに従って、企業理念の確立・浸透や人事部のあり方から、実際の本社人材及び現地幹部の育成や多国籍企業としての人的資源の効果的活用に関して、第一線の研究と、実際の取り組みから議論を行う。

講演内容とタイムスケジュール

13:00	開場
13:25～13:30	開会の挨拶
13:30～14:30	<p>早稲田大学 政治経済学術院教授 白木 三秀氏 「企業のグローバル化と人材のグローバル化:アジアでの課題は何か?」</p> <ul style="list-style-type: none">■グローバル化下の「本社」の課題■海外現地法人におけるHRMの現状■日本人派遣者の諸課題■対応策 <p>新興市場での日本企業のオペレーションが広がる中で、日本企業は人的資源に絡むさまざまな諸課題に直面している。ここでは、本社が抱える問題、現地法人が抱える課題、それに日本人派遣者が直面している課題を検討する中で、今後の方策について議論したい。</p>
14:30～15:30	<p>住友商事株式会社 人事部 部長代理 国際人事チーム長 本村 恵三氏 「総合商社・住友商事におけるグローバル人材施策」</p> <ul style="list-style-type: none">■求める人材像■グローバル人材開発の考え方・方針及び育成体系■SC Valuesの浸透 <p>住友商事は、7つの商品部門と国内・海外の地域組織がさまざまな産業・地域をカバーし、グローバルな事業基盤を構築しています。あらゆる地域で、あらゆるビジネスを展開出来るのが当社の強みである一方で、事業環境の変化や顧客のニーズをとらえて新たな価値を創造するというもう一つの強みを発揮するためには、今後どれだけグローバルに人材を育成できるかが鍵となります。本社社員及び現地職員双方に対する現在の育成施策と今後の方向性をご紹介します。</p>
15:30～15:50	休憩
15:50～17:20	<p>コマツ 常務執行役員 日置 政克氏 「グローバル経営の加速を担う、コマツの人材育成」</p> <ul style="list-style-type: none">■グローバルな人材とは、それも日本人と外国人双方の育成・キャリア形成■ビジネスリーダー研修■(コマツ)ウエイのマネジメント 今なぜコマツウェイか■経営の現地化の考え方と実際の取り組み■人事部の役割■グローバル経営における人事部のあり方・考え方 <p>現在、コマツはグローバル連結経営を確立するべく、優秀なグローバル人材の獲得と育成に力を入れている。グローバルとローカルのバランスを重視し、現地化を促進しているが、各海外地域の文化や習慣を超えた人事制度を構築することは容易ではない。コマツが考えるグローバル化をお話した上で、弊社人事部の考えと具体的取り組みをお話する。</p>
17:20～17:40	閉会の挨拶

「グローバル人材育成 研究会」のお知らせ

2011年1月25日(木) 開始

会場 東京大手町にて開催予定

定員:30名様限定 同じメンバーで全5回 半年間開催します。お申し込み受付は後日お知らせ致します。

金融危機後、「世界経済地図」に大きな地殻変動が起こっています。多くの企業がその事業構造の抜本的な変革を求められる中、その事業を支える人材育成・人事制度のあり方も大きく変化しています。

本研究会では、この変化を100年に1度の変革期と捉え、グローバルな人事制度構築や人材育成に関して、踏み込んだ取り組みをされている10社様にご協力頂きます。単に方法論を議論するのではなく、その背景としてある、事業構造の変化や、それに対応する人事部としての考え方・戦略を話して頂きます。その上で該当テーマにしたがい、各社の具体的取り組みをご発表頂きます。

研究会開催の目的

- 参加者が自社の課題を整理し、次なるグローバル人事施策を整える機会を提供すること。
- 参加者が研究会後も情報交換できる人脈を作る機会を提供すること。

開催日程	ご講演企業
1月25日(火)	株式会社東芝 人事部 グローバル人材開発担当 グループ長 宮崎 雄行 様 帝人クリエイティブスタッフ株式会社 グローバル人事室 担当課長 吉村 慶夫 様
2月23日(水)	株式会社日立製作所 人財開発部長 兼 総合教育センタ長 菅原 明彦 様 日本郵船株式会社 海務グループ グループ長代理 田中 俊弘 様
4月下旬	富士通株式会社 海外ビジネスグループ 担当部長 中川 順司 様 国内大手化学メーカー 人事部 様
5月25日(水)	日揮株式会社 人事部 人材開発マネージャー 馬場 浩史 様 株式会社堀場製作所 グローバル人事部 部長 若林 聡 様
6月下旬	アサヒビール株式会社 人事部 プロデューサー 三浦 一郎 様 交渉中

研究会の焦点

- グローバル経営における企業理念の策定・浸透
- トランスナショナルな人事制度における人事評価制度
- 本社人材の早期選抜プログラム
- 国際ローテーションによる海外経験を持つ人材の拡大
- 海外子会社・関係会社における幹部の発掘・育成
- 海外現地従業員の為の教育施設マネジメント
- グローバル化に伴う経営幹部の人間教育
- 若手-中堅社員のグローバル早期戦力化教育
- 地域専門家育成による現地市場戦略の確立